



## イベント 多摩同胞会、地域住民向けに終活セミナーを開講

社会福祉法人多摩同胞会（本部東京都府中市）は1月14日、同会が運営する高齢者施設「緑苑」の地域交流スペースで市民向けセミナー「緑苑・安心シニア塾」（参加費無料）を開催した。

同セミナーは、「安心して老後を過ごすために必要な情報を発信し、さまざまな『老い』についてともに考える」ことを目的に13年にスタートしたもので、今年度で第3期を迎える。看護師・管理栄養士・社会保険労務士などの専門職を講師に招き、今年度は5～10月に「高齢期の食事作り」や「身体を動かすコツ」といったわかりやすいテーマの基礎講座（全8回）、11～2月で「シニア世代の税・相続・住まい・資産」「防犯・防災・暮らしの安全」など、さらに“掘り下げた”内容の専門講座（全6回）を開講。興味のある講座を選んで参加できるが、基礎・専門とも全講座を受講した人



講師を務めた東京福祉会渉外部の花島宗温氏（左）と宮川巧氏

にはそれぞれ修了証が発行される。

第3回専門講座として、14日10時30分～12時に行なわれた「終活について～知っておきたい葬儀のこと～」には57人が参加。東京福祉会（本部東京都文京区、理事長原山陽一氏）の社員2人が、「葬儀」と「エンディングノート」について解説した。

多様化する葬儀の種類や流れ、料金体系などに加えて「安心できる葬儀社を選ぶための5つのポイント」が紹介されると参加者は熱心にメモをとり、セミナー終了後には、「エンバーミング」とは何か、そもそもどのように葬儀社を調べたらよいのか、といった質問を投げかけていた。同会では今後も継続して取り組んでいく構えだ。



1テーマ当たりの参加者は平均約40人で、ほとんどが70歳代の地域住民。約7割を女性が占めるが、男性の参加者も徐々にふえてきている